

10分でわかる

社会・経済のうごき@しんぶん.yomu

知っておきたい日本経済トピックスを新聞から抜粋しました。(公社)長井法人会(TEL88-3960 FAX88-3823)

地方経済、東北を除き2期連続で改善

日銀の7月の地域経済報告で、東北を除いた8地域で景気判断を2期連続で上方修正した。全国9地域のうち、東北を除く8地域が「持ち直し」との上向き表現で上方修正し、4月に続いて2期連続で引き上げた。東北については「回復しつつある」との表現で景気判断を据え置いた。上方修正の判断に当たっては、生産が7地域、個人消費が6地域で上方修正され、企業の生産活動と個人消費が寄与したとしている。

介護給付費、過去最高を更新

厚生労働省の2011年度の介護保険事業状況報告によると、介護保険料や税金で賄われる介護保険の給付費は前年度比5.1%増の7兆6298億円となり、過去最高を更新したことが分かった。また、介護が必要と認定された人も4.8%増の531万人となり、制度が発足した2000年度の2倍超となっている。1人当たりの給付費を都道府県別にみると、最高の沖縄県が約31万円、最低の埼玉県が約19万円で、1.6倍の格差があった。

年金運用、過去最高の黒字に

年金積立金管理運用独立行政法人の発表によると、2012年度の厚生年金と国民年金の積み立て運用結果が、運用利回りがプラス10.23%となり、運用黒字額も1兆2222億円で、いずれも過去最高になったことが分かった。安倍政権での経済政策「アベノミクス」への期待が膨らみ、国内株価が上昇したのに加え、円安により外貨建ての株や債券の評価額が大きく膨らんだことが背景にある。

老朽化した橋、計画の85%が未補修

国土交通省の集計調査によると、都道府県や市区町村が管理する道路橋が老朽化によって補修が計画されている橋が6万8800カ所ある中で、5万8758カ所が未補修であることが明らかになった。補修率が15%にとどまっている背景には、「技術者や予算の不足で補修が計画通りに進まない」と指摘している。また、老朽化で通行規制されている橋は5年前の約1.7倍にあたる1381カ所にまで増えていることも明らかになった。

路線価、4年連続で下落幅が縮小

国税庁が発表した2013年分の路線価(1月1日現在)は全国平均で前年比1.8%下落したことが分かった。4年連続で下落幅が縮小している。横浜や大阪などの大都市部では上昇がみられて底入れ感がみられる一方、松江や山口などの地方都市では依然として下落幅が大きく、地方での低迷が目立った。

有効求人倍率、4年11カ月ぶりの高水準

厚生労働省は5月の有効求人倍率は前月比0.01ポイント上昇の0.90倍となったと発表した。3カ月連続での改善で、リーマン・ショック前の2008年6月以来の高水準になった。とくに、円安を背景に、宿泊・飲食サービス業で前年同月比23.2%もの大幅な増加となり、消費増税前の住宅建設の駆け込み需要で建設業が同10.1%増となっている。都道府県別にみると、最高は東京都と愛知県の1.30倍で、最低は沖縄県の0.52倍だった。

高齢者世帯、過去最多を記録

厚生労働省の国民生活基礎調査によると、2012年の65歳以上の高齢者世帯数は過去最多の1024万1千世帯(推計)になったことが明らかになった。このうち65歳の夫婦だけの世帯は初めて500万世帯を超え501万7千世帯となり、高齢者世帯の49.0%を占めた。女性の1人暮らしが349万8千世帯、男性の1人暮らし世帯が137万世帯となっている。

今夏の国内旅行者数、過去最高の予測

JTBなどの旅行大手会社への今夏の国内旅行予約者数は前年を1割ほど上回る8000万人に達することが判明し、過去最高になる見通しにあることが分かった。旅行先で増加率が高かったのは、東北の前年比36%増で、首都圏(同29%増)、中四国(同28%増)が続いた。一方、海外旅行は、関係悪化する中国・韓国は前年比2~5割減少見通しとなっており、前年には及ばない見通しである。